



青い風

小平市立小平第九小学校
コミュニティスクール
(CS)

いのち 生命を守る ～自分のよさを見つめて～

主幹教諭 市川 昌浩

6年生が4月に受けた全国学力・学習状況調査の結果が戻ってきました。その中の「自分には、よいところがあると思いますか」という質問では、「とてもそう思う」と答えた割合が全国の児童より7ポイント高く、2人に1人が自分のよさを強く認めています。さらに、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせると、9割の児童が自分のよさを認めているという結果でした。これは、友達や先生、家族、地域の方々との関わりの中で、「自分って、いいな」と感じる経験を積み重ねてきたからかもしれません。

子どもたちが自分を大切にするとともに、私たち大人も子どもたちの命を守っていかなければなりません。学校には、様々な「命を守る」学びや取組があります。

一つめは、災害や事故から身を守ることです。学校では、毎月、様々な場面を想定した避難訓練を行っています。また、警察等と連携して交通安全教室を実施し、交通ルールについて学ぶ機会を設けています。いざというときに、自分で危険を予測し、安全な行動を選択する力を身に付けることを大切にしています。

二つめは、SNSや性的な被害から自分を守ることです。写真や動画の撮影を断ってもよいことや、プライベートゾーンを守ることなど、自分の心と体を守るために必要なことを、発達段階に応じて学んでいます。自分の気持ちを大切にするとともに、相手の気持ちも尊重することを学ぶ機会でもあります。

三つめは、何よりも「自分自身を大切にすること」です。道徳の授業を中心に「生命（いのち）の授業」を行っています。自分のよさに気付くこと、困ったときには誰かに助けを求めてよいこと、「いや」と言ってよいことなど、自分の心や命を守るために必要なことを学んでいます。

「命を守る」とは、危険から身を守ることだけではありません。自分がかけがえのない存在であることを知り、自分も、周りの人も大切にすることです。

これからも学校と家庭、地域が力を合わせ、一人一人の子どもたちが自分の命と心を大切にできるよう、育んでいきたいと思います。

九小まつり

9月25日（金）に、「九小まつり」を行いました。九小まつりは、子どもたちが自分たちでやってみたいことを考えて準備し、全校のみんなで楽しく遊ぶ活動です。2年生以上の各学級では、思い思いのお店を準備しながら、全員が自分の役割をもって活躍しました。どの学級も、子どもたちの工夫がたくさんつまったユニークなお店で、お客さんを楽しませていました。初めて参加した1年生は、どのお店でも思い切り遊んで、まつりを大いに盛り上げてくれたようです。お兄さん、お姉さんの姿に憧れて、「2年生になったら、このお店を出したいね。」などとわくわく話し合う様子があちらこちらで見られました。

子どもたちの笑顔あふれる、楽しい一日になりました。



小中連携

8月27日（木）に「第2回小中連携の日（小平第三中学校区）」を鈴木小学校で開催しました。「小中連携の日」とは、子どもたちが、中学校への進学によって生じる様々な環境の変化に対して、スムーズな適応を図れることを目指し、年に3回、小学校と中学校の教員が協議をする日です。教員が教科ごとに分かれ、小学校と中学校でどんなことができるか具体案を考えました。合同挨拶活動や授業の進め方、児童・生徒が苦手としている分野、小学校の段階で身に付けておくべき力などについて、有意義な話し合いをすることができました。

10月の生活目標

みんなで力を合わせよう

運動会における低学年の組分けについて

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、今年度の運動会における低学年児童の組分け方法につきまして、今年度より変更することにしました。昨年度は一つのクラスの中に赤組・白組の児童が分かれておりましたが、今年度から低学年の児童は「クラスごと」に赤組と白組に分ける方法に変更いたします。

この変更の理由は、クラス単位で同じ組にすることにより、学級担任によるより丁寧な指導や声掛けを徹底するとともに、競技中や練習中での児童の安全管理をより確実に行うためです。なお、発達段階を鑑み、中学年・高学年の児童は今まで通りの組分けで実施いたします。

こどもたちが安全に楽しく運動会に参加できるよう指導をしてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。